

## 第三者評価結果

### A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
【A1】	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入所時、更新時、随時、利用者や家族から活動や食事、仕事の内容などの意思や希望を聞き取っています。利用者のエンパワーメントを大切にした主体的な支援、自立支援を目指し「利用者特性・支援記録」を作成し個別支援をしています。日々の活動状況を見て、個々の能力に応じているか、得意とすることが活かされているかなど、支援会議で各種職員が検討しています。利用者主体、利用者権利の尊重を基本にしています。利用者に寄り添い、強要せず、好きな事をして、また明日も施設の利用者や職員に会いに来たいと思えるような支援を心掛けています。毎日の申し送りで支援状況の振り返りをしたり、職員会議で支援内容を共有し、共通認識で支援に努めています。生活上のルールは「利用者特性支援記録」に記載し、個人面談やその都度(例えば休んでいる人の部屋には入らないなど、他利用者に迷惑のかかる事はしないなど)話し合いや注意をして理解を促しています。</p>		
A-1-(2) 権利侵害の防止等		
【A2】	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>家族や利用者には、利用者の権利の尊重、権利擁護、虐待や身体拘束などの権利侵害について、契約時に重要事項の中で説明しています。身体拘束は原則禁止、緊急やむを得ない場合の手続きや実施方法を明確に説明しています。病状から転倒の危険性が非常に高い場合は身体拘束同意書を家族に説明し、同意を得て、経過を記録し、会議で拘束廃止に向けて検討しています。急に外に飛び出してしまう利用者には、職員が入口に立ち予防をするなどの対策に取り組んでいます。職員には、身体拘束や虐待などの権利侵害、人権の尊重について、身体拘束禁止マニュアルや職員倫理行動マニュアルなどに基づき説明や研修をしています。また虐待防止マニュアルには、行政への届出・報告手順も明確に記載し具体的な事例を用いて職員に研修をしています。</p>		

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
【A3】	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個々の心身状況を踏まえ、利用者にとって、何が重要課題であるか、本人がどの様に自律・自立したいと願っているかを、家族や本人と話をし、サービスの方向性、支援内容を決めています。利用者には自立に向け、前もって話し合いをしています。職員が行動を示し、自分でやるように促して動機づけを図っています。自分でいき、困難な状況になったら介助に入り、アドバイスして見守ることをしています。</p> <p>日々の支援状況から個別に「利用者特性・支援記録」に挑戦したいことを記載し、個別支援計画書に基づいて行っています。靴を履く、トイレでペーパーを取る、着替えをする、えびせんを作りたいなど生活上のさまざまな場面で、自律・自立に向けて取り組んでいます。認定調査や更新手続きなど行政の手続きを行っています。地域サービスとしてガイドヘルパーを利用し個別の外出や訪問マッサージを利用して身体機能の維持など図っています。</p>		
【A4】	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>朝の来所時は、職員から積極的に一人ひとりにコミュニケーションを図り、状況や状態を確認しています。当日の利用者スケジュールをわかり易くするため、写真や絵などで活動内容をホワイトボードに掲示しています。活動時には意思の確認や内容の説明などを行い、利用者とのコミュニケーションを図っています。</p> <p>声掛けは、次の行動を促す大切な事として、言葉遣いに気を付けています。言葉による意志表示や伝達が困難な利用者にはカードやジェスチャーなど視覚的表示(文字・数字・番号・写真・絵・矢印など)を行っています。またうなづきや手のひらの動きなどで意思を汲み取ったり、じっくり時間をとり、自ら言葉を発するようにしています。</p> <p>職員は毎日家族からの連絡帳で家庭での状況や変化した状況など情報を共有し、利用者とのコミュニケーションを図っています。また家族とは、施設での状況を伝え、家庭でコミュニケーションを図るよう家族にも協力を得るなど連携しています。今後もカードを増やし、多様なコミュニケーションが図れるよう工夫を期待します。</p>		
【A5】	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者は個別面談で個々の支援内容や提供できる情報や相談事などを話し合っています。作業内容や趣味活動などは、活動プログラムを提示・説明しています。レクリエーション案を作成し、利用者に相談することでニーズに応じ、楽しく過ごせるように配慮しています。ニーズや相談内容は、支援会議で検討し個別の支援計画書にフィードバックし、適正な支援に繋げています。職員から毎朝声をかけ、健康チェック時にも話しかけて相談にも応じています。</p> <p>職員は申し送り時や職員会議でそれらの情報を共有し、必要に応じて検討し、支援に反映しています。施設長は職員に、インフォームドコンセントを大切にしたい利用者主体の支援と説明責任の徹底を図る重要性を伝えていきます。相談に応じる時の「聞くことにおける基本」の研修をしています。オンブズマンが毎月来所して利用者から相談を受け会議をしています。利用者アンケートの「相談したり、意見を言いやすい雰囲気」の質問にほとんどの利用者が「はい」と答えています。</p>		

【A6】	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者が楽しく満足して過ごせるようにアンケートを取り、外出やレクリエーション、セルフ活動(障害者に生産活動等の機会提供)など多様化するニーズに応じられるようにしています。公園やモールでの買い物、水族館・博物館、バスツアーなど外出の機会を設けています。利用者のニーズで一泊旅行も実施しています。タコライス、ピザや月見ハンバーガー作り、そうめん流しなどレクリエーションを実施しています。</p> <p>バランスボールの設置、パーティーションで個室作りなど、活動の環境を整備しています。セルフ活動では手工芸作品やえびせんの製菓作りをして、給料をもらうことが楽しみになっています。音楽療法の音楽レクリエーションでの楽器演奏を祭りで披露し家族などに喜ばれています。</p> <p>自治会だよりや地域社協だよりから地域のイベント(町や小学校の祭りなど)などに参加しています。日中の活動の支援内容は、個別支援計画に盛り込まれ定期的、必要時に見直しを図っています。利用者や家族は計画書の見直し時に要望をきちんと聞いてくれるとの意見が聞かれます。</p>		
【A7】	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「自閉症」「重心児童の理解」「ポジショニング」「行動援護」「重症心身障害児者に対するライフステージ」「摂食」「問題行動とその解決」など研修を通し専門知識の習得とその対応を学んでいます。職員会議で研修報告をし、専門知識など共有を図り、個別の支援方法の検討や見直しを図っています。</p> <p>落ち着けるようなスペース確保や事故防止の個別対応、環境整備をしています。「自閉症」の研修では様々な行動による対応を理解するなど、他の障害にも通じるため年6回実施しています。日々生じる障害による行動と対応を「利用者の特性と支援記録」に詳細に記載し、支援会議で支援方法の見直し・検討をしています。</p> <p>問題行動が出た利用者は、必要に応じ席や向きを変えたり、個室への誘導や利用階を分けるなど対応しています。また他者との関わりを好まない利用者は衝立を立てた席を提供するなど個々の状況に配慮し対応しています。</p>		
A-2-(2) 日常的な生活支援		
【A8】	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っています。利用者に配食業者から届いた食材を調理し提供しています。偏食やアレルギーに対して食材を変更し、本人の選択に応じて味に敏感な方には味つけの調整をする工夫をしています。食形態を常食や刻み、ミキサー食など摂食状態により対応しています。外食やレクリエーションでの簡単な調理、外出時のお弁当など楽しみとなるように配慮しています。</p> <p>自作の農園で採れた野菜や果物を付け合わせて提供しています。入浴支援も個浴を提供し支援しますが、現在は該当者がいません。失禁時はシャワー浴、排泄の自立支援に向けた工夫、立位不安定者の二人介助などに取り組んでいます。</p> <p>移動は心身の状況に応じて車いす・歩行器・杖を使用し、自操や見守り、介助を行っています。車いす操作や移乗介助の勉強会、介助時のポイントレクチャーなど介護技術の向上に取り組んでいます。</p>		

A-2-(3) 生活環境		
【A9】	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者の活動の場は1階と2階に心身の状況や希望、活動内容で分かれています。活動の場や食事の場は窓が大きく、明るい環境になっています。職員はサーキュレーターやエアコンで適切な温度や湿度の管理をしています。</p> <p>パーティーションでの個室や畳の部屋、ベッドの設置など生活環境の整備を図っています。例えば個別に、他利用者との関係で1階と2階と利用環境の調整をしたり、キッチンでの食事やお気に入りの畳の部屋で落ち着いて過ごしたり、臥床での排泄交換の場や休息・安眠のためになど、その都度配慮して環境を提供しています。</p> <p>清掃は利用者が退所後に職員が行っています。調理場は利用者の製菓作りがあるため衛生面や調理器具の工夫など安全に取り組めるように配慮しています。今夏の猛暑でエアコンの効きが悪く買い替えを検討中、より良い環境整備を図ることを期待します。</p>		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
【A10】	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>機能訓練士は配置していませんが、看護師や職員が個々の身体状況に応じ積極的に生活上での訓練を行っています。毎日午前・午後とラジオ体操に利用者が主体的に取り組み、可動域の維持・向上が図れるようにしています。毎日の靴の履き替え動作をする、移動を車いすから歩行器を使用する、自助具を活用して自力で摂取を促すなど、本人の状況を見ながら能力の引き出しをおこない、より自立した生活に向けて日々取り組んでいます。</p> <p>整形外科受診時に施設で取り組める訓練内容のアドバイスを受れたり、訪問マッサージ師がマッサージのみでなく筋力の維持向上のケアをしています。訓練などの支援内容は、個別の支援計画書に盛り込み、支援実施とモニタリングをし、支援訓練内容の検討見直しを図っています。</p>		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
【A11】	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年2回健康診断の実施と往診医が毎月1回訪問し、健康管理を図っています。看護師を3名配置して、毎日一人は出勤するようにしています。毎朝、来所時にバイタルチェックをして服薬を預かり、与薬など服薬管理をしています。利用者の排便状況を確認し、服薬や食事内容の検討や摂取状況や量をみています。看護師は医師と相談し食事内容と形態の変更を検討しています。家族にも報告をし、関係者が連携して健康管理を図っています。</p> <p>看護師は日々の健康管理を往診医に報告し指示を仰ぎ、職員付き添いで他科受診に繋がっています。職員は、「自閉症やてんかん発作など障害の特性と対応」など勉強を定期的に行っています。「病気の症状と対応」や「緊急連絡先一覧」を見やすい場所に掲示しています。家族から急変時の搬送先を事前に聞き取り、状態変化の状況判断が難しい時は、救急隊を要請するなど対応をしています。</p>		

【A12】	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>医療的な支援の実施についての方針を重要事項説明書に明記しています。個別の障害に応じた対応をアセスメントや基本情報に記載しています。個別計画書には健康管理として個々の症状に応じた支援内容を記載し、実施に取り組んでいます。看護師は来所時に持参薬を預かり必要時に与薬しています。持参薬忘れのための予備薬や急な状態変化に対応できるように常備薬、また緊急時として3日分の服薬を、鍵にかかる書庫で保管し服薬管理をしています。</p> <p>疾患に応じ往診医やかかりつけ医の指示を仰ぎ、連携して健康支援をしています。アレルギーや糖尿病疾患、食事量低下の利用者には、食材の変更や治療食の提供、食事量と与薬量の調整、食事形態の変更、高栄養補助食品の提供など支援しています。職員は「感染症の基本的知識」「自閉症」「支援現場における医療との連携」のなど医療に関する研修や現場で直接看護師から指導やアドバイスを受けています。</p>		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
【A13】	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設は、社会貢献活動や作業活動など働くことは、障害が重くてもライフサイクルに関わる営み、役割を担っていることの実感とは生きることの喜びに繋がるとして取り組んでいます。自治会やボランティア団体と連携して地域道路の清掃活動、リサイクル活動としてエコキャップ回収と選別(ワクチン寄付)やアルミ缶の回収、リサイクルはがきの作成などを行っています。</p> <p>関係機関との連携により製品の販売会を通し食品製造(えびせん)、布製品の製造(バッグ、ビーズ小物)、などの販売をしています。PCやスマートフォンを使った利用者の好むSNSや動画サイトの使い方など職員と共に随時学習しています。利用者の書いた絵をインターネットに載せたところTシャツにプリントし好評でしたので販売に繋がれるように進めています。</p>		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
【A14】	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>障害のある方が地域社会の一員として、社会参加を果たすための支援をしています。福祉サービスの利用、自立に向けた働きかけに取り組み、家族支援を行っています。自治会便りや地域社協だよりなどで、社会参加のイベントや外出先などの情報を提供しています。地域に出て、生活の拡大や潤いのある生活を図るため、ガイドヘルパーやヘルパー、介護タクシーなどの利用の手配や紹介をしています。</p> <p>利用者の希望に応じ、毎日ヘルパーと介護タクシーを利用して個別に買い物や映画鑑賞、カラオケ、ケーキを食べに行くなどしています。また自宅で入浴ができないなど自宅で困っていることや家族支援も含めヘルパーの利用の提案をしています。ケアホームの体験入居の調整を行っています。多くの地域からの施設利用ができるよう送迎サービスの充実を図っています。介護タクシーの送迎を利用して新たな送迎ルートにも取り組んでいます。</p>		

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
【A15】	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<コメント> 利用時には毎回連絡帳を通し、施設での生活状況や活動状況、健康状況などの報告や自宅での生活状況の確認や相談に応じ助言などしています。また受診報告など必要時は電話連絡や送迎時に直接話をしています。利用者の体調不良時や急変時の対応として緊急連絡先や救急搬送先の病院名などを確認しています。「未来新聞」をイベント開催時に発行し、作業や活動風景の写真をメインに載せ配布しています。 利用者や家族が支援会議に参加して、生活の支援内容の希望やニーズの相談や確認をし、作成した個別支援計画書を説明し同意を得ています。年3回家族懇談会を開催し約8割の家族が出席し、施設運営や事業報告・事業計画の説明、サービス内容の変更や取り組み、利用状況等話し合っています。 家族の介護ストレスの軽減のためショートステイの利用などを紹介しています。家族からちょっとした小さなこと、気になることが聴ける、また利用者の様子、生活の報告があるとの意見が聞けています。		

### A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
【A16】	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	
<コメント> 障害児支援以外の事業所のため「評価外」		

### A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
【A17】	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	
<コメント> 就労支援外の事業所のため「評価外」		

【A18】	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	
<p>&lt;コメント&gt; 就労支援外の事業所のため「評価外」</p>		
【A19】	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	
<p>&lt;コメント&gt; 就労支援外の事業所のため「評価外」</p>		